

## 第2回鹿野地域振興会議 議事概要

日 時：令和6年6月4日（火） 午後1時30分～午後3時15分

場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

### 【出席委員】

岡本洋一、小川義和、長谷川誠一、兼平 恵、塚本 均、筒井洋平、吉井秀三、  
山名 修、池原恵理、武部夏美

以上10名（敬称略）

### 【欠席委員】 砂川重雄、佐々木千代子

以上2名（敬称略）

### 【事務局】

<鹿野町総合支所>

岡本支所長、小林副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、  
國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

### 【傍聴者】 なし

### 【日 程】

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

#### 3 議題

（1）「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画の進捗状況について

（資料ダウンロード）

（2）地域課題（共助交通）に係る先進地視察について

（資料ダウンロード）

#### 4 報告事項

（1）地域おこし協力隊員に係る支援について

（資料ダウンロード）

（2）行事経過報告及び今後の予定について

（資料ダウンロード）

#### 5 その他

#### 6 閉 会

## ◎議事概要

### 3 議題（1）「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画の進捗状況について

事務局より資料1に基づき説明。

・令和5年度の「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画の進捗状況を説明

【委員】鹿野地鶏の生産拡大について、生産量が決まっている試験場からヒナを買っているのですが、今以上に生産を増やせないのではないかと。

【事務局】今年度は、鶏舎の増床でなく改修が計画されています。改修ができたとしても増販はまだ先になると思います。

【委員】日本酒醸造米について、面積は増えたが生産者は減ったということなのか。

【事務局】その通りです。

【委員】先日、大阪市内5校の中学校の修学旅行を紹介するパネル展が関金町の湯命館で開催されていた。観光を目的にする修学旅行ではなく、竹を切ってベンチにしたり、田植えをしたり、地方の暮らしを体験するような内容で、延べ500人ぐらいが農家に民泊し、地域の人と交流していた。また、日野町、日南町、江府町では、3町が連携して大阪から修学旅行生を受け入れ、チェーンソーを使って山の木を切り出し、木工家具を作る体験などを行っていた。鹿野町には鳥の劇場や果樹の里山があるし、あおや和紙工房などと連携して西部地域全体で体験型修学旅行を誘致すれば、交流人口の拡大につながると思う。

【委員】都会の人たちに田植えや稲刈りを体験してもらい、そのあとホットピアや山紫苑で汗を流せば、施設の利用者も増えるのではないかと。（株）ふるさと鹿野に提案したことがある。

### 3 議題（2）地域課題（共助交通）に係る先進地視察について

事務局より資料2に基づき説明。

・共助交通の県内先進地（大山町、琴浦町）の資料を基に説明

【委員】視察先として、森林を活用して地域おこしをしている岡山県西栗倉村はどうだろうか。単に木材を加工して販売するのではなく、6次産業化や付加価値を付けて販売したり、過疎化が進んでいる地域で関係人口を増やす事

業に取り組んだりしている。県外の多くの若者が移住し、ベンチャー企業を立ち上げ、住民の15%が移住者になっているという。また、移住者を増やすことも必要だが、その隣町の奈義町では、子育て支援を積極的に取り組み、出生率は全国平均の2倍以上あるということだ。全国的に注目されている子育て支援を視察するため、昨年、岸田総理も訪れている。移動に時間がかかるかもしれないが、両地域を見るのはどうか。

【委員】資料にある大山町は移住者も増えているようで、共助交通とあわせて移住の取り組みも視察してはどうか。移住先進地として鹿野町のほかに、岩美町、大山町と聞くので、他の町がどんな取り組みをしているのか知りたい。

【委員】大山町の共助交通を視察できればと思う。

【委員】移動手段のない弱者を助ける大山町の共助交通の取り組みが新聞に掲載されていたので、大山町を見てみたい。

【委員】奈義町の子育て支援は全国から脚光を浴びている。子どもは地域の宝、人口が増えないにしても、出生率を増やして人口を維持するような取り組みが必要でないだろうか。公共交通は色々な手法があるので、この地域の誰のためにするのか、どのエリアでするのか、目的や場所が決まってから視察するほうが良い。視察するなら子育て支援のほうを望む。

【委員】子育て支援の先進地を見てみたい。勝谷元気づくりの会では、大人と子どもが一緒になれるような居場所づくりに取り組もうとしている。どのような形になれば居心地がいいのか課題を持っている。地域全体で子育て支援をしようという機運の高い地域を視察できればと思う。

【委員】小鷲河ふる里をまもる会では、智頭町の共助交通の視察を予定しているので、共助交通以外の視察がありがたい。

【委員】駅から離れている立地の公共交通、さじアストロパークの利用状況、昨年の台風7号の被害の対応などを目的として、佐治町の視察はどうだろうか。また、伊福部昭の施設ができる明治地区も見てみたい。

【事務局】奈義町の子育て支援については、子どもの居場所づくりなど地域住民の取り組みが視察できれば良いと思います。また、共助交通については様々な手法があります。今年度、小鷲河地区で実施される未来づくり懇談会において、生活交通がテーマの一つになっています。支所でも地域にどんな

手法が合うのか研究していますが、カーシェアリングのようなやり方もあります。また、住民の方がどんなものを求めているのか知ったうえで視察したほうがいいですが、どんな手法があるのか知ることにも必要です。いずれにしても子育て支援か共助交通のどちらかの視察にさせていただければと思います。

**【委員】** 住民が何を求めているのかを知る必要はあるが、実際に取り組んでいる地域の実情を見たうえで色々な手法を知り、地域に何が合うのか考えることも大切である。私も車の運転が出来なくなり免許返納した時に、自分はどうするのか今から考えている。近くのお店もいつまであるのか分からないので、買い物弱者にとっては身に迫る話だ。共助交通の取り組みを早く着手しなければならないのであれば、今回、視察できればと思う。

**【委員】** 共助交通の手法が様々あるのであれば、ニーズや実態を把握するのが優先だと思う。乗る人がいないのに定期的にバスを走らせるのは効率が悪い。若い人がアルコールを飲んだ時に移動手段が欲しいということなら別だが、高齢者になって車に乗れなくなった場合、家族がいなければ福祉有償運送が望ましいと思う。日常で必要な移動手段に何が必要なのか、該当者が誰なのか、そういうことを絞ってから課題解決するような進め方が良いと思う。実証実験した乗合タクシーの登録者は、何歳以上が多かったのか。

**【事務局】** ほとんどが高齢者です。

**【委員】** そうであれば高齢者が利用したくなるような仕組みを考えていく必要がある。また、奈義町の子育て支援については、行政が様々な財政支援をしているが、それだけでなく、地域や企業が取り組みの支援をしているとテレビで放送されていた。地域がどう支援できているのかを視察できれば参考になる。

**【委員】** 事務局で奈義町の子育て支援について調べてもらい、子育て支援と共助交通のどちらの視察に行くのか、次回の地域振興会議で皆さんの意見を聞かせてほしい。

**【委員】** デマンドバスの予約を受けるためには、ずっと人がいないといけないのか。

**【事務局】** スマイル大山号はタクシー会社が予約受付の対応をしています。琴浦町の共助交通は集落で運営しているので携帯電話を常時持って対応している

のだと思います。

【委員】色々なところを見て、どの方法がこの地域に合うのか知る必要がある。

【委員】新たな方法を導入すれば、循環バスはやめなくてはいけないのか。

【事務局】有償運送を循環バスと同じエリアで運行することはできないですが、無償であれば同じエリアで運行できます。ただし、無償での継続は難しいと思います。県西部には無償運送に対する補助制度はありますが、鳥取市にはありません。

【委員】福部町の「らっちゃんバス」が大山町のデマンドバスのようなやり方だったと思う。あわせて福祉有償運送もしているが、登録した高齢者が利用できる。鹿野でも利用希望者が高齢者であれば、直接自宅に迎えに行く福祉有償運送というやり方もある。まずはどういった方が必要とされているのか把握したほうが良い。

【委員】住民がドライバーになるというのがネックになると思う。研修を受けたとしても、事故があった場合の対応が大変だと思う。私はしたくない。

【事務局】最近に登録した専用車で送り迎えするコミュニティカーシェアリングという制度もあり、ドライバーと利用者の本人同士がよければ 24 時間、どこまでも送迎することができるようです。

【委員】そのカーシェアリングはどこでやっているのか。

【事務局】県内では米子市永江地区などで実施されているようです。

【委員】無償運送には補助制度がないのか。

【事務局】鳥取市内では無償運送が必要という話しがまだ出ていないのか、今のところ鳥取市に補助制度はありません。他の自治体で設けているところがあるので、必要であれば鳥取市でもできると思います。人件費は補助対象外ですが、車両代やガソリン代は対象になるようです。

【委員】青谷町は路線バスが無くなったと聞いたが、その後、どうなったのか。

【事務局】路線バス廃止後は、朝の通勤通学時には青谷タクシーが循環バスを運行し、日中は翼運輸がデマンドバスを運行しています。青谷町は始まったばかりなので、これから課題が出てくると思います。気高循環バス路線のうち、利用率が高かったのはデマンドバスの船磯線でした。デマンドバスは合理的なのかもしれませんが、実証実験の声にあったように電話するのが

苦手という方も多いので、ニーズと合うのか疑問に思います。近所の人なら電話できても、知らない人には電話できないということがあるようです。

【委員】共助交通に対する鹿野町の課題や利用希望者を教えてほしい。

【委員】次回の地域振興会議の事前配布の資料に、視察先候補の資料もあわせてお届けします。

#### 4 報告事項（1）地域おこし協力隊員に係る支援について

事務局より資料3に基づき説明。

・地域おこし協力隊員に係る定住支援事業補助金交付要綱を基に説明

【委員】地域おこし協力隊が鳥取市で定住したケースはあるのか。

【事務局】これまで、鹿野町の隊員が鹿野地鶏を使ったやきとり屋を旧市に開業し、現在も定住されています。

#### 4 報告事項（2）行事経過報告及び今後の予定について

事務局より資料に基づき説明。

【委員】11月10日に鷲峯山麓ハーフマラソンを開催。定員は1,000名（100名増）、参加料は6,000円（1,000円増）。今年は屋台村をグレードアップするなど、スタート会場を応援者でいっぱいになりたいので、皆様ご協力をお願いしたい。

【事務局】6月22日に東京圏域にお住いの鹿野町、気高町出身の方が集う「鷲ヶ峰会」が開催されます。鹿野祭りやイベント、ふるさと納税などを紹介したいと思いますが、何かPRすることがあれば教えてください。

【委員】動画を用意するので、ぜひ、鷲峯山麓ハーフマラソンを紹介してほしい。